

タイトル『バブニー・ばいのーらる』

CV 小粋

企画・台本 オナサポ総合研究所

---

【はじめに】

は〜い、坊や達？

ママが抱っこしてあげまちゅよ〜？

恥ずかしがり屋の坊やも、素直になれないボクちゃんも…み〜んな  
み〜んな、ママに甘えちゃっていいんでちゅ。

ここは、「バブバブちゃん」だけが、遊べる<sup>やかた</sup>館…。

ちょっぴりおちんちんが寂しく<sup>さみ</sup>なっちゃった坊や達に、「バブニ  
ー」を、教えてあげまちゅからね〜？

さあ、ママに続いて言ってみてくだちゃ〜い？

ばぶう〜、ばぶう〜。

恥ずかしがらずに言えまちたか〜？

バブバブちゃんになりきれる自信のある子だけ…ママのところへ、  
来てくだちゃいね〜？

そ〜んな退行願望<sup>たいこうがんぼう</sup>の強い「バブバブちゃん」には、ママのお手々<sup>てて</sup>で、  
やわらかオッパイで、ぬるぬるの「ベロベロ」で…と〜っても気持  
ちよくしてあげまちゅからね〜？

じゃあ、待ってまちゅよ？ 坊や達？

んっふふ。

## 1 章【ママのオッパイでぷるんぷるん】

坊や、ママに会いに来てくれたんでちゅね？

今まで誰にも甘えることができなかったんでちゅか？

〈坊や ばぶう〜〉

それは寂<sup>さみ</sup>しかったでちゅね〜？

今日はた〜くさん、ママに甘えちゃっていいんでちゅよ〜？

坊やの声、聞かせくだちゃいね？

マあーマ、マあーマ ♪

ばぶうー、ばぶうー、ばぶうー。

そうでちゅよ〜？ も〜っと元気な声だせまちゅか〜？

恥ずかしがらなくても大<sup>だい</sup>丈<sup>じょう</sup>夫<sup>ぶ</sup>でちゅよ〜？

ばぶうー、ばぶうー。

ふふっ。

ばぶうー、ばぶうー、ばぶうー、ばぶうー。

んっふふ。

坊やのことを一番大切に思っているのは、目の前にいるママでちゅからね〜？

マあーマ、マあーマ ♪

ばぶうー、ばぶうー、ばぶうー。

そう、いい子でちゅね？ とってもいい子でちゅ。

坊やはママのこと、好きでちゅか〜？

ばぶうー、ばぶうー、ばぶうー、ばぶばぶうー。

とってもうれしいでちゅよ〜、坊やがママのことを好きでいてくれて。

ママも坊やのことが大好きでちゅ。

だからず～っとず～っと、可愛い坊やのまま…元気でいてくだちやいね～？

ばぶうー、ばっぶうー。ばぶばぶうー。

〈坊や きやつきや〉

んっふふ。

ママと一緒に「ばぶばぶ」していたら、お腹がすい<sup>なか</sup>ちやいまちたね～？

なにが欲しいんでちゅか？ 坊や。

坊やはなにが欲しいの？

ママのオッパイ？

ママのオッパイを、ちゅーちゅーしたいんでちゅね？

この特大のメロンより大きく<sup>みの</sup>実った、「やわらかオッパイ」に、坊やの夢が、た～くさん、詰<sup>つ</sup>まっていまちゅよ～？

ほ～ら、ママの左のオッパイから、ちゅーちゅーしてくだちやいね～？

〈左耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

ちゅ～、ちゅっ♪

今度は右のオッパイも、あわてずに吸うんでちゅよ？

〈右耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

ちゅ～、ちゅっ♪

んっふふ。

そんなに欲しがっても、両方いっぺんには無理でちゅよ？

右か左か、どちらかのオッパイをひと～つずつ…。

〈左耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

〈右耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

〈左耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

〈右耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

ふふっ、どっちのオッパイも待ちきれないくらい、交互にちゅーちゅーしちやって。

坊やは欲張りさんでちゅね～？

ママのオッパイ、そんなに美味しいんでちゅか～？

ばぶうー、ばっぶうー。

坊やの喜ぶ顔をみるのが、ママの幸せでちゅよ～？

お顔をうずめて、「パフパフ」しまちようね～？

パフパフ、パフパフ♪

パフパフ、パフパフ♪

〈坊や はふうー〉

ママのお胸に「パフパフ」、坊やは大好きでちゅね～？

大好き過ぎて、坊やの大事な大事なところが、ムクムク膨らんできちやいまちたよ～？

おちんちんピンコピンコでちゅ。

このピンコピンコは、どうすれば治るんでちゅか～？

坊やの可愛いタマタマから、ミルクをいっぱい出さないといけまちなね～？

ママの大きな大きなオッパイで、モミモミしてあげまちゅね～？

こ～んなふうにてちゅよ～？

〈左右交互に〉

ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨ～ン。

〈坊や はふはふー〉

ママの「やわらかオッパイ」に包まれて、坊やの「おちんちんピンコピンコ」が、もっともっと硬くなって来ていまちゅよ～？

〈左右交互に〉

ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨヨヨ～ン。

とっても大きくなりまちたね～？

ここまで大きくなったら、甘あ～い甘あ～い「練乳ミルク」を、たっぷり垂らして、ぬるぬるにしてあげまちゅよ～？

〈びゅるる、クチュ〉

ママの大きな二つのオッパイが、<sup>うえ</sup>上に<sup>した</sup>下に…。

ぷる～んと揺れて、坊やのおちんちんを、ぬるぬるムニユムニユ…。

何度も繰り返しの「オッパイピストン」が、トロけてしまうくらい、<sup>ゆめごち</sup>夢心地の気分でちゅ。

ぬるぬる～、ムニユムニユ～♪

ぬるぬる～、ムニユムニユ～♪

坊やの「おっき」した<sup>あたま</sup>亀さんの頭が、カウパーでじんわり<sup>ぬ</sup>濡れて、先っぽがテッカテカになって来ていまちゅよ～？

おちんちん気持ちいいんでちゅか～？

〈坊や はうー〉

いっぱい気持ちよくなると、タマタマがきゅーつとあがって来まちゅからね～？

今度は「きりもみパイパイ」でちゅ。

右のオッパイを上げて～、左のオッパイをおろして。

左のオッパイを上げたら～、右のオッパイをおろしまちゅ。

こうして互い<sup>たが</sup><sup>ちが</sup>違いにおちんちんをモミモミすると、坊やのカリ首の<sup>あた</sup>辺りが、ぬるぬると刺激されて、とっても幸せな気分になりまちゅよ～？

〈坊や あうあうー〉

ぷるーん、ぷるーん、ぷる～ん。

もみもみぷる～ん、ぷるぷるぷる～ん。

ぷるぷるぷるぷる、ぷるぷるぷるぷる。

ぷるぷるぷるぷる、ぷるぷるぷるぷる。

ぷるぷるぷるるん、ぷるぷるぷる～ん♪

どうでちゅか～？ 坊や。

もう「ぴゅっぴゅ」しちゃいそうでちゅか～？

ばぶう～、ばぶう～。

〈右耳へささやき〉

まだでちゅよ～、ま～だ。

もっとぷるぷるしまちゅからね～？

坊やのタマタマから「甘えん坊ミルク」を、いっぱい<sup>しば</sup>搾ってあげまちゅよ～？

ママのオッパイが形を変えちゃうくらいの<sup>いきお</sup>勢いで、「高速パイパイ」

いきまちゅよ～？

さん、はい♪

たふたふたふたふ／ぷるぷるぷるぷる。

たふたふたふたふ／ふるふるふるふる。

たふたふたふたふ／ふるふるふるふるう～♪

〈ぐちゅぐちゅ…〉

ママのオッパイにこ～んなにされちゃったら、たまりまちなね～？

坊やのおちんちんすずぐちの鈴口から、トロ～ンと糸をひく透明しるなお汁があふれて、止まらなくなってきたいまちゅよ～？

「やわらかオッパイ」にモミモミされて、もう「どぴゅっぴゅすんぜん寸前」でちゅ。

イキたいでちゅか～？ 坊や。

気持ちよくどぴゅ～っと、出したいでちゅよね～？

いいでちゅよ～？

ぴゅ～っと飛ばしてくだちゃいね～？ ママの大きなおお大きなおお胸の谷間に。

〈坊や はう～〉

坊やのタマタマミルク、ぴゅっぴゅのお時間でちゅよ～？

ファイナルどぴゅどぴゅカウントダウン、5秒前。

よん 4…さん 3…にい 2…いち 1…。

ゼロ～♪

どぴゅ～、どっぴゅ～、どぴゅどぴゅどぴゅ～。

〈坊や はうあうあ～〉

は～い。

とっても元気にいきお勢いよく、出すことができましたね～。

量も多くてトロトロで、これは最高の「花はなまるぴゅっぴゅ」でちゅ。

坊やは満足できましたか？

〈坊や ばっぶー〉

ママはとっても幸せな気分でちゅよ？

「ぴゅっぴゅ」に疲れちゃった坊やは、お休みしまちょうね？

さあ、目をつむって？

今からママが、絵本を読んであげまちゅよ？

## 2 章－1 【耳舐めの女神さま】

〈序奏 BGM〉

むかし<sup>ものがたり</sup>物語、「耳舐めの女神さま」

むか～しむか～し、ある小さな村のはずれに、一人の<sup>わかもの</sup>若者が暮らしていました。

若者の名前は、バブーといいます。

バブーは<sup>やさ</sup>優しくまじめでしたが、とても<sup>まず</sup>貧しかったので、いまにも<sup>くず</sup>崩れそうな<sup>や</sup>ボロ家に住んでいました。

けれどそんなバブーが毎日<sup>か</sup>欠かさずに行っていることがあります。

<sup>うらやま</sup>裏山の<sup>さんどう</sup>山道にひっそりと<sup>たたず</sup>佇んでいた、ゆえも知れぬ古びたお地蔵様を<sup>とうと</sup>尊び、<sup>みずか</sup>自ら口にするはずの<sup>むぎ</sup>麦の半分を残しては、<sup>そな</sup>お供え物をしていたのです。

誰から言われたわけでもありません。

雨の日も風の日も、夏の日も冬の日も、くり返しくり返しずっと、それが続けていたのです。

ある晩のことです――。

バブーの住む<sup>や</sup>ボロ屋の玄関を、ドンドンと<sup>たた</sup>激しく叩く音が聞こえました。

〈ドンドン〉

こんな夜更けに騒<sup>よふ</sup>がしくする者は、まともな人間であるはずがありません。

バブーは<sup>そまつ</sup>粗末な<sup>ふとん</sup>布団を頭までかぶり、気づかないふりをしました。  
すると…。

「わしじゃ、地蔵じゃ。ここを<sup>あ</sup>開けるのじゃ」と、あのお地蔵様を名乗る若い女子<sup>おなご</sup>の声が、はっきりと聞こえるではありませんか。

びっくりして飛び起きたバブーは半信半疑、おそろおそろ戸を開くと、そこには今まで見たこともないような、とても美しい女子が立っていたのです。

「ふむ、相変わらずふぬけた面をしておるのう」  
言葉づかいは少しヘンでしたが、バブーは一目惚れをしてしまいました。

「わしは耳舐め菩薩じゃ。長い間 あいだあの場所におったが、おぬしのことを幸せにしとうなった。今日からここに住まわせてもらうぞ？」

なんとバブーが毎日手を合わせていたあのお地蔵様は、その耳を舐めた者に幸をもたらし、富を運ぶという、「耳舐めの女神さま」だったのです。

さっそくその日の晩からバブーは、ぺろりぬるりと、耳を舐められました。

〈右耳を舐めます〉

ぺろ〜り、ぺろぺろ、ぺろ〜り、ぺろぺろ…。

「耳舐めはよいものじゃ。どれ、こちら側もしてやろう」

〈左耳を舐めます〉

ぺろ〜り、ぺろぺろ、ぺろ〜り、ぺろぺろ…。

どれくらい舐められていたのか分かりません。

女神の手はバブーの乳首や下半身にも伸び、色々なところを気持ちよくしてくれました。

バブーはあまりの夢見心地にウットリとし、いつのまにか眠ってしまったのです。

## 2 章－2 【坊やの夢の通りに耳舐めシコシコでちゅ】

坊や、夢を見ていたんでちゅか？

〈坊や ばぶあー？〉

ママが坊やの眠る前に聞かせた、昔ばなし？

あれは「かちかち山」でちたね～？

悪いタヌキさんをウサギさんが、こらしめるお話でちゅ。

〈坊や ばっぶうー〉

なあに？ そんな話じゃなかったの？

違うお話だったんでちゅか？

坊やがそんなに興味をもつくらい、面白いお話だったんでちゅね～？

〈坊や あうー〉

それじゃあ今からママが、子供の頃に読んだ絵本と、同じことをしてみまちゅよ～？

坊やの見た夢と同じだったかどうか、あとで教えてくだちゃいね？

〈坊や あうー〉

お耳を舐めまちゅよ～？

右耳をこう…。

〈右耳を舐めます〉

ぺろ～リ、ぺろぺろ、ぺろ～リ、ぺろぺろ…。

耳を舐めるのがとっても大好きな、女神様がいたんでちゅ。

〈左耳を舐めます〉

ぺろ～リ、ぺろぺろ、ぺろ～リ、ぺろぺろ…。

気持ちいいでちゅか？

もっとぺろぺろして欲ちかったら、ばぶうーって、答えてみてくだ

ちやい？

ばぶうー、ばぶうー、ばぶうー。

んっふふ。

〈右耳を舐めます〉

ペロ〜リ、ペロペロ、ペロ〜リ、ペロペロ…。

また、こっちの耳でちゅよ〜？

〈左耳を舐めます〉

ペロ〜リ、ペロペロ、ペロ〜リ、ペロペロ…。

こんなにペロペロされちゃうと、これだけでは我慢できなくなっちやいまちゅよね〜？

〈坊や あうー〉

ここをこうでちゅ。

坊やの乳首を、親指と人さし指で、軽〜くつまんで…。

きゅ〜っと、おひねりしちやいまちゅよ〜？

コリコリきゅ〜っ、コリコリきゅ〜っ。

〈坊や はうあー〉

〈右耳を舐めます〉

ペロ〜リ、ペロペロ、ペロ〜リ、ペロペロ…。

〈右耳にささやき〉

<sup>ちくび</sup>乳首さんだけでなく、坊やのおちんちんも…<sup>た</sup>勃って来てまちゅよ？

〈右耳を舐めます〉

ペロ〜リ、ペロペロ、ペロ〜リ、ペロペロ…。

おちんちんシコシコしちやっていいんでちゅか〜？

ばぶう～、ばぶう～。

〈左耳を舐めます〉

ぺろ～り、ぺろぺろ、ぺろ～り、ぺろぺろ…。

〈左耳にささやき〉

坊やのおちんちんのお皮を、めくったりかぶせたり…。

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

〈左耳を舐めます〉

ぺろ～り、ぺろぺろ、ぺろ～り、ぺろぺろ…。

気持ちいいでちゅね～？

坊やのここは、今からママにも～っと、気持ちよくされちゃいまちゅよ～？

ママのお口でパク～っと…。

あ～む、クチュ、チュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル…。

ママの「チュパチュパおしゃぶり」は、坊やのここをトロトロに…トロけさせちゃうおしゃぶりでちゅ。

ん、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、レロレロレロレロレロレロ、レロレロレロレロレロレロ…。

デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル…。

デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、レロレロレロレロレロレロ、レロレロレロレロレロレロ…デュル、デュルリ…。

坊やのおちんちんの裏側の<sup>ねもと</sup>根元から先っちょまで…べろ～り、べろ～り、べろ～り、べろ～り。

もうおちんちん、ぬるぬるでちゅね～？

〈坊や はうあー〉

デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュルル、  
デュル、デュル、ベロ～リ、ベロ～リ、ベロ～リ、ベロ～リ、デュ  
ル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル……。

で  
出ちやいそうでちゅか～？

ミルクが溜<sup>た</sup>まっているタマタマ、ぱくぱくしちやいまちゅよ～？

あむ、デュルル、ブデュルルルルルルルルルルルルルルウウウウーッ  
…ちゅぽん。

ん～む、デュルル、ブデュルルルルルルルルルルルルルルウウウウー  
ッ…ちゅぽん。

〈坊や あうー〉

んっふふ。

また舐め舐めを、おちんちんに戻して…。

ほ～ら…デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、レロレロレ  
ロレロレロレロ、レロレロレロレロレロレロ…。

ん、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュル  
ル、デュル、デュル…ちゅぽん。

ママにペロペロされて、おちんちんビクンビクンでちゅね～？

最後はお手<sup>て</sup>々で、「どっぴゅん」でちゅよ？

坊やのカウパーとママの「唾<sup>つば</sup>々」で、たっぷり濡らしておきまちた  
からね～？

〈クチュクチュ 手こき開始〉

〈右耳にささやき〉

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

「指わっか」がカリ首にクニクニ引つかかって、気持ちいい  
ちゅね～？

ばぶう～、ばぶう～。

ママのお手々にシコシコされると、坊やは魔法が掛かったみたいに、  
トロ～ンととろけて、夢心地になりまちゅ…。

〈左耳にささやき〉

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

坊やのおちんちんの裏筋が、ピーンと張って…。はちきれちゃいそ  
うでちゅよ～？

もうこんなにシコシコされたら、イキたくてたまらないでちゅよね  
～？

いいんでちゅよ～？ お漏らししちゃっても。

〈坊や はうー〉

さあ坊や？ ぴゅっぴゅの時間でちゅよ～？

おもいきり飛ばしてくだちゃいね～？

今度はどこに出すんでちゅか～？

ママのお顔？ お口の中？

〈坊や ばぶうー〉

ふふっ、じゃあお口の中に。

ぴゅ～つとでちゅよ？ 坊やのおいしいミルク…。

ママが3つ数えたら、坊やはイってしまいまちゅ。

おなかの奥からグーっ<sup>た</sup>と溜めて、準備はいいでちゅか～？

いきまちゅよ～？

さん にい いち  
3、2、1…。

はい。

どびゅ～、どっびゅ～、どびゅどびゅどびゅ～。

〈坊や あうっ、はうー〉

ん…クチュ、チュル、デュルル、デュルルル、チュル…。

ゴクリ…。

坊やのタマタマミルクは、のどごし柔らかでちゅね～？

また、飲ませてくだちゃいね？

んっふふ。

### 3章－1【その後のバブー】

坊やの見た夢は、「耳舐めの女神さま」

その話にそっくりでちゅね～？

まいばん

毎晩耳をペロペロされたり、おちんちんをシコシコされたり、独り身みだったバブーは、幸せ者になりまちた。

この話の最後にバブーはどうなったのか、坊やは知っていまちゅか？

〈坊や ばうー？〉

女神様に「耳を舐め舐め」されたバブーは、ある日ある能力に気づいたんでちゅ。

山や川にすむ動物や魚たちの、「言葉」がわかるようになったこと…。

そのおかげであちこちに埋うまっていた、「たくさんの金銀財宝きんぎんざいほう」を、みつけることができたんでちゅよ？

だからバブーは、「耳舐め長ちょう者じゃ」と…いわれたそうな。

おしまい。

〈坊や ばぶー〉

んっふふ。

ママの読んだ絵本に書いてあったのは、これだけちゅ。

けれど若いバブーが美しい女神さまを前にして、「耳舐めペロペロ」や「手こきシコシコ」、本当にそれだけで我慢がまんできたと、思いまちゅか？

どんなにおとなしいバブーや、坊やみたいな男の子にだって…。

「女の子にパンパンしてみたい」という欲求は、眠っているはずでちゅから。

その証拠に、バブーと女神さまがエッチをしたお話も、いっぱい描<sup>えが</sup>かれているんでちゅよ？

みんな女神さまやバブーのことを、とってもとっても、気に入って<sup>い</sup>いたんでちゅね～？ ふふっ。

### 3章ー2【ママとパンパンで中だしぴゅっぴゅでちゅ】

さあ坊や、よーく見てくだちゃい？

これがママの「まんまん」でちゅよ～？

ぱっくりお口を広げた、天然の「アワビちゃん」みたいでちゅね～？

この中に坊やのおちんちんが、ぬるぬる入<sup>はい</sup>っていくんでちゅ。

ママのカラダに入<sup>はい</sup>っていくなんて、なんだかワクワクしちゃいまちゅね～。

さあ、坊やのおちんちんを、「ピンコピンコ」しまちょうね～？

ママのお手<sup>て</sup>々でえ～。

シコシコシコシコ。

坊やのここが、大きく硬あ～くなりまちゅように。

シコシコシコシコ。

次はお口でいきまちゅよ～？

ん…クチュ…ヂュル…ヂュル…ヂュル…ヂュル…ヂュルルル…ちゅぽん。

〈坊や はうー〉

はい、これでおっけーでちゅ。

大きくなったここを、ママの中に挿<sup>い</sup>れていきまちょうね～？

亀さんの頭を～、下のお口にあてがってえ～。

ぬるぬるヌプヌプ、ゆっくりとゆっくりと…。

〈ジュブ…〉

ああ…。

きてまちゅよ坊や…。

初めて「まんまん」に挿<sup>い</sup>れたヌプヌプ、じゅうずにできまちたね

～？

「まんまん」の中は、気持ちいいでちゅか～？

〈坊や ばぶう～〉

ばぶう～、ばぶばぶう～。

そのまま腰を前後に振って、もっともっ～と、ばぶばぶしまちょう  
ね～？

せーの♪

パ～ンパン、パ～ンパン♪ パ～ンパン、パ～ンパン♪

いいでちゅよ～。

パ～ンパン、パ～ンパン♪ パ～ンパン、パ～ンパン♪

は～い、坊やはハメハメとってもじょうず。

同じようにママがリズムをとってあげまちゅから、続けておちんち  
んを入れたり出したりするんでちゅよ～？

せーの♪

は～いはい、は～いはい♪ は～いはい、は～いはい♪

そのままそのまま～♪

は～いはい、は～いはい♪ は～いはい、シュッシュ♪

〈坊や ばぶあ～、はうう…〉

どうしたんでちゅか～？ 坊や。

もうお漏らししちやいそうなんでちゅか～？

いけまちえんよ～？

坊やのおちんちんには、ママの期待がたっくさん掛かっていまちゅ  
からね～？

頑張ってパンパンしまちょうね～？

そーれ♪

ピストン、ピストン♪

ひいー、ふうー、みいー、よおー♪

ピストン、ピストン♪

いつ、むうー、なあー、やあー♪

パ〜ンパン、パ〜ンパン♪ パ〜ンパン、パ〜ンパン♪

は〜いはい、は〜いはい♪ んっ、ん、んっ、んう〜♪

は〜い、パンパンとめてくだちやいね〜。

〈坊や ばぶう…ばう〉

坊や<sup>そしつ</sup>は素質がありまちゅよ〜？

「パンパンオリンピック」の金メダル<sup>こうほ</sup>候補でちゅ。

いまに世界中の女の子がびっくりするくらいの、「パンパンアスリート」になれまちゅよ〜？ んっふふ。

〈坊や ばっぶう〜〉

さあ、まだ大丈夫でちゅか〜？

今度はママの騎乗位<sup>きじょうい</sup>で、奥まで深めのパンパンでちゅよ〜？

我慢<sup>がまん</sup>できなくなったら、これでどぴゅ〜っと、出しちやいまちょうね〜？

上からヌプ〜っと…。

〈グチュルル…〉

ん…あつ…ああつ…。

入りまちたよ〜？ 坊や。

いきまちゅね〜…？

ずっぽん、ずっぽん、ずっぽん、ばっこん♪

ずっぽん、ずっぽん、ずっぽん、ばっこん♪

んっ…ああ…。

〈パンパン〉

ああ…ああ…はあ…はあ…はあ…ああ…。

見えまちゅか～？ …坊や。

おちんちんがズッポリと、入ってるところ…。

はあ…はあ…はあ…はあ…ああ…。

もっと後ろに<sup>そ</sup>反り返って、よ～く見せてあげまちゅよ～…？

〈ぐい グチュ〉

あっ…ああっ…ああ…はあ…はあ…はあ…。

坊やの「とろとろミルク」、ママにた～くさん…<sup>そそ</sup>注いでくだちやい  
ね～…？

お尻をぐるぐる回してえ～…<sup>じょう げ</sup>上 下にパンパンはめて…。

ん…う…ああ…ああ…はあ…はあ…はあ…はあ…。

いいでちゅよ～坊や、とってもいいでちゅよ～…？

坊やはあと…何<sup>なん</sup>ピストンくらい<sup>た</sup>耐えられそうでちゅか～…？

ママのまんまんと坊やのおちんちんは、仲良しこよしでちゅ…。

奥<sup>い</sup>まで挿れて、ぬる～っと出して…。

深<sup>い</sup>あ～く挿れて、ぬるぬる<sup>ぬ</sup>抜いて…。

坊やのおちんちんは、ママの肉<sup>にく</sup>まんまんに<sup>じょう げ</sup>上 下されるたびに…。

はあ…はあ…とってもとっても…気持ちよ～くなってゆきまちゅ…。

ん…んっ…ああっ…はあっ…ああ…はあ…はあ…はあ…。

まっすぐそそり<sup>た</sup>勃った坊やのおちんちんに、ズッポリ<sup>い</sup>挿れられちゃ  
って…ママもたまらなく、気持ちよくなって来ていまちゅよ～…？

はあ…はあ…もうママのまんまんは、「メロメロのびちよびちよ」  
でちゅ…。

奥からじゅわっと…はあ…はあ…ああ…ああ…<sup>あふ</sup>溢れだして来てるマ

あいえき  
マの愛液、わかりまちゅか〜…？

はあ…はあ…はあ…あああ…んっ…はあ…はあ…はあ…。

〈坊や ばぶう〜〉

〈グジュル…〉

どうやら坊やのおちんちんも、限界ギリギリみたいでちゅね〜…？

いいんでちゅよ〜？ 坊や…。

それじゃあママのまんまんに、「中だしぴゅっぴゅ」しまちょうね〜…？

はあ…はあ…大きなお尻が<sup>もち</sup>お餅みたいに揺れて、ペッタンコペッタンコ…。速めにパンパンしまちゅからね〜…？

〈パンパンパン〉

んっ…んんっ…あっ…あああっ…。

う…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…はあっ…ああっ…ああっ…  
ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…。

気持ちいいでちゅよ〜坊や…ママも<sup>のぼ</sup>昇りつめて、イキそうでちゅ…。

まんまんがきゅ〜んと<sup>し</sup>締まって…坊やのおちんちんから…はあ…はあ…  
タマタマミルクをぴゅぴゅ〜っと…<sup>しば</sup>搾ろうとしていまちゅね〜…？

ん…ああ…ああっ…ああっ…ああっ…う…はう…あ…ああ…はあ…  
はあ…はあ…はあ…。

どぴゅどぴゅしまちょうね〜、どぴゅどぴゅどぴゅどぴゅでちゅよ〜…。

どぴゅどぴゅ〜、どぴゅどぴゅ〜、どぴゅどぴゅどぴゅ〜…。

あっ…ああっ…はあ…はあ…どぴゅ…っああ…はあ…はあ…どぴゅ  
どぴゅ〜…どぴゅどぴゅどぴゅ〜…。

坊やのおちんちんから…タマタマミルク発射準備…完了でちゅ…。

まんまんイキまちゅよ～？ …ママイキまちゅよ坊や？

はあつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああ  
つ…ああつ…ああつ…ん…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああ  
つ…ああつ…ああつ…ああつ…。

イク う う う …。

〈ドビュ ドビュ〉

大成功でちゅよ、坊や…。

はあ…はあ…はあ…。

ほ～ら…。

ん…チュ…チュル…チュル…チュルル…チュル…ちゅぽん。

ふふっ…。

付録の章【ママといっしょにおやすみ坊や】

ここから先は、ねむねむの時間…。

ママと一緒に、おねんねしまちようね～？

さあ、横になって目を閉じて？

〈坊や 目を閉じる〉

そうでちゅよ～？

ママに呼吸を合わせていくと、気持ちよ～く眠れまちゅからね～？

鼻からでも口からでもいいでちゅよ？

息をスウ～っと吸って？

〈坊や スウ～〉

フウ～っと吐<sup>は</sup>いて。

〈坊や フウ～〉

スウ～っと吸って？

〈坊や スウ～〉

フウ～っと吐<sup>は</sup>いて。

〈坊や フウ～〉

スウ～っと吸って？

〈坊や スウ～〉

フウ～っと吐<sup>は</sup>いて。

〈坊や フウ～〉

そのままつづけてくだちゃいね～？

吸って～、吐<sup>は</sup>いて。

吸って～、吐<sup>は</sup>いて。

〈坊や スウ～、フウ～〉

とってもいいでちゅよ～？

そうして坊やは呼吸をしているだけで、深<sup>ふか</sup>～い眠りに、おちていき  
まちゆ。

深あ～く、深あ～く…。

坊やの記憶がぼんやりと、薄<sup>うす</sup>れて行くくらいになると…。

いつも見えていた「お外<sup>そと</sup>」の世界からは、どんどんどんどん遠ざか  
って…夢の中へ。

そこにママがいまちゆからね～？

ず～っと一緒に、坊やと一緒に…。

すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ  
～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、  
はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう  
～、はあ～、すう～、はあ～。

〈呼吸から寝息にかわります〉

ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ  
～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、  
はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう  
～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、  
ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ  
～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～…。

おやすみ、坊や…。

おわり